

I.....事例に学ぶ消費者トラブル



ケース 1 「やばい! アダルトサイトの支払請求画面が消えない!」あせるタクヤさん

23歳の会社員タクヤさんは、家のパソコンでインターネットの無料アダルトサイトを検索していました。

動画を見ようとする「18歳以上ですか」と年齢確認の画面が表示されたので、「はい」をクリックしたところ、突然「登録完了。登録料として3万8千円お支払いください。」という支払請求画面になりました。

タクヤさんは、家族にこの画面を見られたくないので、大急ぎでパソコンの電源を切りました。けれども、再びパソコンを起動すると、画面に支払請求画面が表示されて消えません。「あと〇日で期限です」という表示も出ています。

困ったタクヤさんは、表示されている問合せ先に電話しようかどうか迷っています。

👉 **考えてみよう!**
あなたがタクヤさんならどうしますか?

ケース 2 街角で声をかけられ、ついて行ったら大変なことになったユウコさん

ユウコさんは、20歳の大学生。街頭で「無料でお肌の診断をするので、化粧品についてのアンケートに協力して」と声をかけられました。「時間はとらせません」と言われたので案内されるままにサロンについて行ったところ、簡単な肌診断の後「あなたにはこのコースがいい」と20万円ものエステのコースを勧められました。「肌の手入れをすれば今よりずっときれいに見える」「せっかくきれいな顔立ちをしているのに、このままではもったいない」「今ならキャンペーン期間中であつてもお得」など複数の営業員がユウコさんを取り囲みました。

ついその気になったユウコさんは、契約書にサインしてしまいました。

しかし、家に帰ってよく考えると、これからは就職活動でアルバイトもできなくなるのに、エステの代金を支払っていくことは大変だと気づきました。今は契約書にサインしたことを後悔しています。

👉 **考えてみよう!**
ユウコさんは、この契約をやめることができるでしょうか?

